NEWS RELEASE

SEGASammy
文化芸術財団

2026年11月5日

Dance Base Yokohama、“Wings”の2作品を世界最大規模の舞台芸術祭「CINARS Biennale 2026」で上演

カナダ・モントリオールでショーケース、ピッチ、ブースを展開　ケベックシティでも上演

一般財団法人セガサミー文化芸術財団（所在地：神奈川県横浜市、代表理事：里見治紀、以下「セガサミー文化芸術財団」）が運営するダンスハウス「Dance Base Yokohama（ダンスベースヨコハマ）」（以下「DaBY」）は、「世界に羽ばたく次世代クリエイターのための Dance Base Yokohama　国際ダンスプロジェクト“Wings”」で創作した 2 作品を、2026 年 11 月 9 日（月）にカナダ・モントリオールで開催される世界最大規模の舞台芸術祭「CINARS Biennale 2026」にて上演いたします。

今回上演するのは、岩渕貞太『大いなる午後：the soft machine xxx』と、小野彩加　中澤陽　スペースノットブランク『ダンス作品第 3 番：志賀直哉「城の崎にて」』の 2 作品で、両作品にとって初の海外公演となります。
また、CINARS 会期中は「Japan at CINARS 2026」として、愛知県芸術劇場、公益社団法人全国公立文化施設協会、横浜国際舞台芸術ミーティングと連携し、日本のクリエイターや舞台芸術作品を紹介し、ネットワーキングの機会を広げるピッチとブース出展を行います。

あわせて、岩渕貞太『大いなる午後：the soft machine xxx』は、ケベック州と京都府の友好協力協定締結 10 周年を記念して開催されるイベント「Célébrons Kyoto!」（意味：京都を祝おう！）の一環として招聘を受け、11 月 14 日（土）にケベックシティでも上演します。

“Wings”プロジェクトは、「文化芸術活動基盤強化基金」による「クリエイター・アーティスト等育成事業」【舞踊部門】に採択され、2024 年より実施しています。今後の活動にもどうぞご期待ください。

■CINARS について

カナダ・モントリオールを拠点とする「CINARS」は、40 年以上にわたり世界の舞台芸術の国際循環と市場開拓を牽引してきた国際ネットワークです。その中核となる「CINARS Biennale」は、世界中からエージェント、劇団・ダンスカンパニー、劇場主、フェスティバルディレクター、文化機関の代表者が集う、舞台芸術分野において世界で最も重要視されるイベントの一つです。隔年開催されるこの催しには約 50 カ国から 1,300 人以上のプロフェッショナルが参加し、活発な商談と交流が行われています。

■Dance Base Yokohama（DaBY）

「DaBY」は、ダンスを中心とするパフォーミングアーツ作品の創作を目的に、地域や文化芸術を愛する方に開かれたダンスハウスです。2020 年 6 月のオープン以来、ワークショップや実験的なトライアウト公演の企画・運営、海外アーティストやカンパニーの招聘、ダンスアーカイブ事業などを行い、振付家やダンサーをはじめとした、さまざまな分野のクリエイター、批評家、研究者、プロダクションスタッフ、そして観客が交流する拠点となることを目指しています。
唐津絵理（愛知県芸術劇場 常務理事 芸術監督（アーティスティックディレクター））がアーティスティックディレクターを務め、ダンス、舞台芸術領域全体の活動環境の整備、アーティスト・ダンサー・スタッフの権利擁護、観客や市場の拡大に取り組んでいます。

SEGASammy
文化芸術財団

■世界に羽ばたく次世代クリエイターのための Dance Base Yokohama 国際ダンスプロジェクト “Wings”とは

“Wings”は、文化庁による文化芸術活動基盤強化基金(※)におけるクリエイター・アーティスト等育成事業の【舞踊部門】で採択された事業のひとつで、DaBYが継続的に支援する6組のクリエイター(阿目虎南、岩渕貞太、小野彩加 中澤陽 スペースノットブランク、柿崎麻莉子、鈴木竜、高橋萌登)の国際的な活動を推進しています。今後も国内外のダンスハウスネットワークを拡張しながら、日本のダンスシーンの国際的な発信拠点としての役割を担ってまいります。

■文化芸術活動基盤強化基金について(※)

文化庁令和5年度補正予算において措置された補助金により、クリエイター・アーティスト等の育成及び文化施設の高付加価値化のために行う事業を実施するため、独立行政法人日本芸術文化振興会に文化芸術活動基盤強化基金が設立されました。こちらの基金により、次代を担うクリエイター・アーティスト等の挑戦・育成が支援されるとともに、その活躍・発信の場である文化施設の機能強化について、弾力的かつ複数年度にわたっての支援が行われています。

活動概要について: https://www.ntj.jac.go.jp/kikin/kiban/creator/list/06/

助成: Japan Creator Support Fund 文化庁 文化芸術活動基盤強化基金(クリエイター等育成・文化施設高付加価値化支援事業)|独立行政法人日本芸術文化振興会

概要につきましては、別紙にてご査収いただきたく、何卒宜しくお願いいたします。
本件に関して取材を承っておりますので、情報や写真等をご希望の方は、下記担当までご連絡をいただけますようお願いいたします。

＜一般財団法人セガサミー文化芸術財団 概要＞

名称	:	一般財団法人セガサミー文化芸術財団
住所	:	神奈川県横浜市中区北仲通5-57-2 KITANAKA BRICK&WHITE BRICK North 3階
設立	:	2019年3月1日
代表理事		里見治紀(セガサミーホールディングス株式会社 代表取締役社長グループCEO)
目的	:	芸術・文化活動に対する支援を通じて、豊かな社会の実現と文化の創造に貢献する
公式サイト	:	https://www.segasammy.or.jp/

＜Dance Base Yokohama(DaBY) 概要＞

名称	:	Dance Base Yokohama(ダンスベースヨコハマ)
愛称	:	DaBY(デイビー)
住所	:	神奈川県横浜市中区北仲通5-57-2 KITANAKA BRICK&WHITE BRICK North 3階
オープン日	:	2020年6月25日
開館時間	:	10:00～18:00(火～土 ／ 日・月休)※詳細は公式サイトにてご確認ください
公式サイト	:	https://dancebase.yokohama/

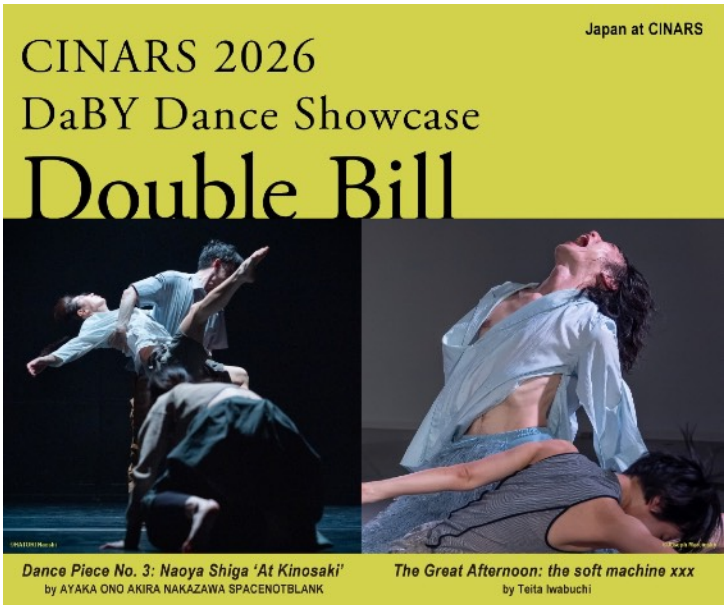
以上

PRESS RELEASE

2026.11.5
Dance Base Yokohama

世界最大規模の舞台芸術祭「CINARS Biennale 2026」にて “Wings” ダブルビルショーケースおよびピッチ、ブースを出展

岩渕貞太『大いなる午後： the soft machine xxx』
小野彩加 中澤陽 スペースノットブランク『ダンス作品第3番：志賀直哉「城の崎にて」』



2026年11月9日 (月)、世界に羽ばたく次世代クリエイターのための Dance Base Yokohama 国際ダンスプロジェクト“Wings” の2組のクリエイターと創作した作品を、世界最大規模の舞台芸術祭「CINARS」にて上演します。
上演するのは、岩渕貞太『大いなる午後：the soft machine xxx』と、小野彩加 中澤陽 スペースノットブランク『ダンス作品第3番：志賀直哉「城の崎にて」』です。
いずれも2025年10〜11月の愛知県芸術劇場・メニコン　シアターAoiでの初演、同年12月のYPAM Exchangeでの上演、その後のいわき芸術文化交流館アリオス公演 (『ダンス作品第3番：志賀直哉「城の崎にて」』のみ) やリクリエイションを重ね、今回が初の海外公演となります。

CINARS会期中には、「Japan at CINARS 2026」として、愛知県芸術劇場、公益社団法人全国公立文化施設協会、横浜国際舞台芸術ミーティングの3団体と共同でピッチの実施、およびブース出展も行います。本見本市への参加・視察を通して、日本発クリエイターや舞台芸術作品の紹介、そして国際的なネットワーキングの機会を広げてまいります。

あわせて、『大いなる午後：the soft machine xxx』は、11月14日 (土) にケベックシティでも上演します。本企画は、ケベック州と京都府の友好協力協定締結10周年にあたる2026年を記念して開催されるイベント「Célébrons Kyoto!」(意味：京都を祝おう！) の一環で招聘を受けたものです。
いずれも、初演からさらにリクリエイションを経て、上演時間を短縮した本公演オリジナル版を上演します。

“Wings” プロジェクトは、「文化芸術活動基盤強化基金」による「クリエイター・アーティスト等育成事業」【舞踊部門】に採択され、2024年より実施しています。今後の “Wings” プロジェクト、そしてクリエイターの活動にご注目ください。

Dance Base Yokohama　〒231-0003 神奈川県横浜市中区北仲通5-57-2 KITANAKA BRICK&WHITE BRICK North 1/3階
制作 神村 / 広報 田中 篠永　info@dancebase.yokohama　045-323-9901　https://dancebase.yokohama/

■ 作品について
◎岩渕貞太『大いなる午後：the soft machine xxx』
故・室伏鴻に深い影響を受け、舞踏・武術・老子から「恍惚身体論」を編み出した岩渕貞太は、二人のダンサーとともに、舞踏の内臓に迫る。
本作で特徴的に用いられる発声である、うめきや叫び、途切れる息などは、言葉になる前に身体の内側から漏れ出し、身体を動かしている機構までむき出しにしてしまう。
声から動きへ。動きから声へ。その往復は、身体から身体へと遅延しながら渡り、ハウリングを起こして空間を飽和させる。

尚、本作のリクリエイションにあたり、新たな楽曲が制作されました。初演から継続して参加する須川崇志による音楽プロデュースのもと、内橋和久、相川瞳らを迎えた楽曲にもご期待ください。

◎小野彩加 中澤陽 スペースノットブランク『ダンス作品第3番：志賀直哉「城の崎にて」』
小野彩加 中澤陽 スペースノットブランクは、志賀直哉が1917年に発表した短編小説『城の崎にて』を、死と生、回復、継承をめぐる、言葉のないダンス作品へと変換する。
志賀が城崎での経験を文学へと変えた過程を辿り直し、城崎の風景と沈黙を、運動を生成し、変形し、身体から身体へと手渡す独自の振付生成メカニズム「フィジカル・カタルシス」によって、振付として再構成する。

尚、出演の今井晴菜、共同クリエイションの丹野武蔵は、2026年6月に開催したオーディションを経て、初演以降に児玉北斗が担ってきた振付を「振り移し」によって継承する「振付継承者」として決定し、参加しています。
オーディション募集詳細：https://dancebase.yokohama/info/16867/

■ CINARS について
カナダ・モントリオールを拠点とする「CINARS」は、40年以上にわたり世界の舞台芸術の国際循環と市場開拓を牽引してきました。その中核となる「CINARS Biennale」は、世界中からエージェント、劇団・ダンスカンパニー、劇場主、フェスティバルディレクター、文化機関の代表者が集う、舞台芸術分野において世界で最も重要視されるイベントの一つです。約50カ国から1,300人以上のプロフェッショナルが参加し、活発な商談と交流が行われています。

■ 今後について
“Wings” はDaBYが継続的に支援する6組のクリエイター（阿目虎南、岩渕貞太、小野彩加 中澤陽 スペースノットブランク、柿崎麻莉子、鈴木竜、高橋萌登）の国際的な活動を推進しています。
DaBYは今後も国内外のダンスハウスネットワークを拡張しながら、日本のダンスシーンの国際的な発信拠点としての役割を担ってまいります。

■ 上演作品詳細

上演プラットフォーム	CINARS Biennale 2026	Célébrons Kyoto!
公演タイトル	DaBY Dance Showcase - Double Bill	ローランド＝アルパン講堂でのプログラム
公演日程	2026年11月9日 (月) 20:00 ～ 22:00	2026年11月14日 (土) 12:30 ～ 13:15
上演作品	岩渕貞太『大いなる午後： the soft machine xxx』 小野彩加 中澤陽 スペースノットブランク『ダンス作品第3番：志賀直哉「城の崎にて」』	岩渕貞太『大いなる午後： the soft machine xxx』 ※Yuuki Religaによる神楽「浦安の舞」と同時上演
上演回数	1回	1回
会場	Édifice Wilder - Espace danse, 1435 rue de Bleury; Espace Orange	Auditorium Roland-Arpin（文明博物館内） 85 Rue Dalhousie, Québec, QC G1K 8R2 Canada
対象	CINARS参加登録者が対象	「Célébrons Kyoto!」入場券をお持ちの方
チケット発売	参加登録者向けサイトにて受付	予約不要
公演詳細情報	https://cinars.org/en/biennale-program/daby-dance-showcase-double-bill	https://mcq.org/decouvrir/activites/celebrons-kyoto/?d=2026-11-14

■ ピッチについて
【日時】11月10日 (火) 12:30 – 13:30
【会場】Room “Westmount 6,” Hôtel Bonaventure
【概要】公益社団法人全国公立文化施設協会、YPAM、愛知県芸術劇場、Dance Base Yokohamaの4団体により、日本で活躍する気鋭のアーティストや作品を一挙にご紹介します。

■ ブースについて
【日時】11月12日 (木) ～14日 (土) 9:00 – 12:00
【会場】Hôtel Bonaventure
【ブース番号】#139 – DaBY / Aichi Prefectural Art Theater

【概要】#138の公益社団法人全国公立文化施設協会、YPAMのブースと並び、Dance Base Yokohamaと愛知県芸術劇場のブースを出展します。DaBY “Wings” および愛知県芸術劇場 “Constellation” のクリエイター、アーティストによる作品の紹介を行います。

■ CINARS公演クレジット
主催・企画制作・製作：Dance Base Yokohama［一般財団法人セガサミー文化芸術財団］
共同製作：愛知県芸術劇場［公益財団法人愛知県文化振興事業団］
助成：クリエイター支援基金
<世界に羽ばたく次世代クリエイターのためのDance Base Yokohama 国際ダンスプロジェクト“Wings”>
協力：Délégation générale du Québec à Tokyo
提携航空会社：Air Canada

■ 作品クレジット

◎岩渕貞太『大いなる午後： the soft machine xxx』



©Joseph Marcinsky

演出・振付・出演：岩渕貞太
出演：小暮香帆、酒井直之
ドラマトゥルク：丹羽青人 (Dance Base Yokohama)
音楽プロデュース：須川崇志
演奏：チェロ, コントラバス 須川崇志
　　ギター, ダクソフォン 内橋和久
　　ヴィブラフォン, パーカッション 相川瞳
録音：レコーディングエンジニア 吉川昭仁 (Studio Dedé)
　　アシスタントエンジニア 井上洋 (Studio Dedé)
衣裳：藤谷香子
アンダースタディ：大月侑
プロデューサー：唐津絵理（愛知県芸術劇場/Dance Base Yokohama）
テクニカルアドバイザー：世古口善徳（URAK）
舞台監督：湯山千景
音響デザイン：中原楽（KARABINER inc.）
照明デザイン：櫛田晃代
制作：神村結花（Dance Base Yokohama）、瀧本麻璃英
広報：田中希（Dance Base Yokohama）
マネージングディレクター：勝見博光（Dance Base Yokohama）
初演：2025年11月（メニコン シアターAoi）＊パフォーミングアーツ・セレクション2025 Festival Edition
企画制作・製作：Dance Base Yokohama［一般財団法人セガサミー文化芸術財団］
共同製作：愛知県芸術劇場［公益財団法人愛知県文化振興事業団］
助成：クリエイター支援基金 <世界に羽ばたく次世代クリエイターのためのDance Base Yokohama 国際ダンスプロジェクト“Wings”>

◎小野彩加 中澤陽 スペースノットブランク『ダンス作品第3番：志賀直哉「城の崎にて」』



©HATORI Naoshi

原案：志賀直哉『城の崎にて』（1917年）
（参考文献：志賀直哉『城の崎にて』『注釈・城の崎にて』NPO法人 本と温泉（2013年））
振付・演出：小野彩加、中澤陽
出演：今井晴菜、斉藤綾子、立山澄
共同クリエイション：児玉北斗、丹野武蔵
リハーサルディレクター：岸本茉夕、山口静
音楽：mmm
プロデューサー：唐津絵理（Dance Base Yokohama/愛知県芸術劇場）
舞台監督：湯山千景
テクニカルアドバイザー：世古口善徳（URAK）
照明デザイン：中山奈美
音響デザイン：櫻内憧海
制作：神村結花（Dance Base Yokohama）、盛裕花（アンクリエイティブ）
制作協力：スペースノットブランク
広報：田中希（Dance Base Yokohama）
マネージングディレクター：勝見博光（Dance Base Yokohama）
初演：2025年10月（愛知県芸術劇場）★パフォーミングアーツ・セレクション2025 Festival Edition
企画制作・製作：Dance Base Yokohama［一般財団法人セガサミー文化芸術財団］
共同製作：愛知県芸術劇場［公益財団法人愛知県文化振興事業団］
助成：クリエイター支援基金 <世界に羽ばたく次世代クリエイターのためのDance Base Yokohama国際ダンスプロジェクト“Wings”>
※振付継承に係る経費の一部には、アーティストが公益財団法人セゾン文化財団から受けた助成金を充当しています。
リサーチ協力：NPO法人DANCE BOX、城崎温泉 三木屋、末代山 温泉寺
レジデンス協力：城崎国際アートセンター（豊岡市）
レジデンス協力（シェフ）：太田夏来
協力：Iwaki Ballet Company、斉藤DANCE工房、東京バレエワークス、渡辺綾子

■プロフィール

■ 岩渕貞太(Teita Iwabuchi / いわぶちていた)
玉川大学で演劇を専攻、平行して、日本舞踊と舞踏も学ぶ。2007年より15年まで、故・室伏鴻の舞踏公演に出演、今日に及ぶ深い影響を受ける。05年より、「身体の構造」「空間や音楽と身体の相互作用」に着目した作品を創りはじめる。10年から、大谷能生や蓮沼執太などの音楽家と共に、身体と音楽の関係性をめぐる共同作業に取り組む。12年、横浜ダンスコレクションEX2012にて、『Hetero』（共同振付：関かおり）が若手振付家のための在日フランス大使館賞受賞、フランス国立現代舞踊センター(CNDC)に滞在。自身のメソッドとして、舞踏や武術、老子などから触発された表現方法論「恍惚身体論」を開発。桜美林大学で非常勤講師を務める。DaBYレジデントアーティスト。LE SSERAFIMが好き。


©野村佐紀子

■ 小野彩加 中澤陽 スペースノットブランク
(AYAKA ONO AKIRA NAKAZAWA SPACENOTBLANK / おのあやか なかざわあきら すぺーすのっとぶらんく)
二人組の舞台作家・小野彩加と中澤陽が舞台芸術作品の創作を行なうコレクティブとして2012年に設立。舞台芸術の既成概念と、独自に研究開発する新しいメカニズムを統合して用いることで、現代における舞台芸術の在り方を探究し、多様な価値創造を試み続けている。固有の環境と関係から生じるコミュニケーションを創造の根源として、クリエーションメンバーとの継続的な協働と、異なるアーティストとのコラボレーションのどちらにも積極的に取り組んでいる。


©Dan Bellman

■ Dance Base Yokohama (DaBY)について

DaBYは、パフォーミングアーツの創作を行うダンスハウスです。アーティスティック・ディレクターを愛知県芸術劇場芸術監督でもある唐津絵理が務め、2020年の創設以来、「フェアクリエイション宣言」の考え方をもと、公正でひらかれた環境づくりをめざしています。「創作環境の整備」「次世代クリエイターの支援」「国際ネットワークの構築」を柱に、愛知県芸術劇場との共同製作・招聘事業をはじめ、各地の劇場・文化機関との連携や、多様なアーティストとの協働の場を継続的に創出しています。

これまでの事業の発展として2024年に始動した “Wings” では、制作支援・メンタリング・海外公演機会の創出を通じてダンスアーティストへの継続的かつ国際的な活動の基盤づくりを行っています。

DANCE
BASE
YOKOHAMA


©Takayuki Abe

DaBYは、2019年に設立した一般財団法人セガサミー文化芸術財団が運営しています。2023年度には、企業メセナ活動の優れた取り組みを表彰する「メセナアワード2023」においてメセナ大賞を受賞しました。

“Wings" 特設サイト：https://dancebase.yokohama/wings/